

<全体分析>

試験時間 2科目4問で100分
(学部・方式により異なる)

解答形式

空欄補充, 選択, 記述, 論述, 計算, 描図

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)大問数は昨年と同じ3題であり, 各大問ともに内容の異なる(A)と(B)に分けた問題となっている。
また, 論述が昨年は3問だったが, 今年は1問に減少した。

出題の特徴や昨年との変更点

特になし。

その他トピックス

特になし。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
〔I〕	空欄補充 選択 記述 計算 描図	遺伝子 細胞分裂	生物 生物基礎	(A) 問3 生きたS型菌が存在すると発病する。 問4 S型菌の抽出液の処理を行ったあと, DNAが存在すると形質転換が起こって, S型 菌が出現する。	やや易
〔II〕	空欄補充 選択 記述 計算	遺伝子 個体群 分類	生物	(B) 問2(8)・(9) 「比」なので, 「長く」「短く」 ではなく「大きく」「小さく」から選ぶ。	標準
〔III〕	空欄補充 選択 記述 論述 計算	酵素 生殖・発生	生物	(A) 問5 試料溶液は溶液Bを4倍に希釈している ことに注意する。 (B) 問2 先体突起が卵の細胞膜に達すると膜電位 変化が起こり, その後に受精膜が形成され る。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で, 当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

基本的知識を確実に学習することが大切である。空欄補充問題が多いので, 生物学用語はしっかり確認しておこう。遺伝子やタンパク質に関する分野は毎年出題されるので, しっかり対策を組んでおこう。また, 計算問題もいろいろなタイプを練習しておこう。